

ゴルフ同好会設立10周年記念コンペ



平成18年7月29日(土)大山アークカントリークラブにおいて鳥取県西部中小企業青年中央会ゴルフ同好会設立10周年記念コンペが盛大に開催されました。当日は梅雨明け翌日で、素晴らしい快晴となりました。記念コンペという事もありOBの方々15名・遠方より東部役員3名・西部現役会員15名参加の総勢33名が9組に別れOUT・INコースより、それぞれ始球式を行い、プレーがスタートしました。OB会員・現役会員が同じ組にはいり、日頃の練習の成果を競い合いました。

表彰式及び懇親会は場所を「旬の旨いもんや 海王」へと移し盛大に開催されました。優勝は鷺澤淳一OB、二位に山本良文OB、三位が金田孝成OBという順位で、ベストは奥森隆夫OBでした。経験と集中力がものをいうスポーツだけに、上位をOBが占められたのもさすがだな、と頷けます。

中央会活動以外の活動によって、更なる友好の和が広がってよいイベントになったとおもいました。

(記事:わくわく発掘委員会 有和豊光)

8月度委員会報告

総務委員会

平成18年8月4日(金) 於:こうりん坊 出席者/12名

議題・7月懇親会・卒会式の反省、
・平成18年度委員会運営並びに書記・会計説明会について

エコチャレンジ委員会

平成18年8月7日(月) 於:ホールサムインかいけ 出席者/9名

議題・中海環境フェアのボランティア参加について
・事業内容について
次回委員会で鳥取環境大学より講師を招いて勉強会を行う。9/8(金)予定

メディアコミュニケーション委員会

平成18年8月7日(月) 於:レストラン ぶどうの木 出席者/11名

議題・ハンサムについて 紙面割付、各担当分担
・HPについて 四役会に報告する事項検討
・カメラ的使用方法について 編集ソフトについて

ビジネス交流委員会

平成18年8月8日(火) 於:米子食品会館 出席者/8名

議題・OB交流例会について
10月担当例会 内容検討
・委員会講演会講師について

政治行政委員会

平成18年8月8日(火) 於:大連 出席者/11名

議題・9月担当例会について
時間、各メンバーの役割確認
赤澤亮正議員を講師として招待

・米子駅周辺視察について
実際にA班、B班に分かれて視察。意見交換

わくわく発掘委員会

平成18年8月7日(月) 於:日野川河川敷 出席者/12名

議題・7月の委員会活動の反省と今後の展開について
・次回のわくわく発掘体験予定
8月27日(日) 中海クルージングツアー
・わくわく体験「うなぎ釣り体験」
釣果 うなぎ2匹 うぐい3匹 邪道2匹

地域スクラム委員会

平成18年8月10日(木) 於:ガイナーレグリーンスクエア 出席者/8名

議題・SC鳥取の将来と現状について
講師 中ノ森寿昭OB 尾形弘次郎代表

夢委員会

平成18年8月7日(月) 於:ホールサムインかいけ 出席者/7名

議題・8月担当例会打ち合わせ
タイムスケジュール、備品、アトラクションの内容、
設営について
・サムライ企画第1弾
THE議論「最近どーよ!日本人。」

※役員会報告、連絡事項、会員拡大の件は各委員会とも行われています。詳細については各委員長までご参照ください。

おめでとうございます

御誕生

川村 来未ちゃん

平成18年7月18日生まれ

川村 健会員の二女(第3子)

「生まれてきてくれてありがとう♥」



お詫び

先月発行しました雄飛32号に下記の通りの誤植がありました。
この場を借りて訂正させていただくとともに深くお詫びいたします。
(2ページ)

32期副会長抱負 中島太郎副会長

1行目 <誤>副委員長を拝命いたしました
<正>副会長を拝命いたしました

9月役員会報告

9月定例役員会が平成18年9月1日(金)、米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・8月例会の反省・報告の件
- ・委員会運営並びに書記・会計説明会報告の件
- ・9月例会開催の件 ・その他

※なお、詳細については委員長までご参照ください。

9月例会案内

と き:平成18年9月15日(金)
18:30~食事 19:00~開会

と ころ:ホテルサンルート米子

講 師:赤澤 亮正 衆議院議員(予定)

講 演:仮題『米子駅周辺の近未来像』

担 当:政治行政委員会

Handsome

発行人:鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 福田一哉 編集責任者:植田寿雄 制作・編集:メディアコミュニケーション委員会 印刷所:東京印刷(株)

8月納涼例会開催 ～大山高原で大いに夢語る～



平成18年8月17日(木)大山Gビール「ビアホフガンバリウス」において、8月納涼例会が開催された。

例会前に大山Gビールの工場見学が行われ、岩田秀樹醸造長からビールの製造工程の説明をしていただき、参加した会員は興味深く話を伺った。

例会に先立ち福田会長より「本日はここ大山の地で納涼例会を企画しました。現役会員のみで夢を語る例会としたい。又、自分たちの未来にむけて語り合っていきたい。」と会員に向けての挨拶があった。

委員長タイムでは、メディアコミュニケーション委員会の景山委員長が様々な「ハサミ」を持参され、実演された。中でも5枚刃のついたシュレッダーハサミ、ピンポイントで切れるハサミ(1ヶ月生産待ち)、L型万能ハサミなど目新しいもの、実用的なものが多くあり、会

員も感嘆のため息をもらしていた。

講演会では、久米桜酒造(株)の田村源太郎社長、岩田醸造長から大山Gビールの成り立ちとビールの楽しみ方をご講演いただいた。田村社長のご講演の中で、大山Gビールは平成9年5月に「ビアホフガンバリウス」として久米桜酒造(株)と山陰酸素工業(株)が共同出資で設立しオープンに至った。今年が9年目で来春にはいよいよ10周年を迎えられるとのこと。平成9年当時は規制緩和により全国で地ビール会社が約300社設立されたが、その中で現在残っているのは約200社。「価格・マーケティング・販売方法の面では大手ビールメーカーには敵わないが、大手ビールにはない『個性』をいかに楽しんでもらえるかが大切である。」と熱く語られた。現在、地元の農家との契約栽培で「大山ゴールド」という品種を栽培しており、地元産の大山Gビールを醸造しているとのことであった。

引き続き岩田醸造長よりビールの楽しみ方として3つのポイントをご説明いただいた。

- ①ビールの色を楽しむ(色のあるビールは焙煎したモルトを使用している)
- ②ビールの香りを楽しむ(70～80%は鼻で感じている。喉で感じるのはごくわずか)
- ③Gビールはスローなビールです(ゆっくり味わって飲んでください)

と言われたにもかかわらず、委員会対抗テイスティング大会では、出場者全員スピーディに飲み干していった。優勝はビジネス交流委員会。もう少しスローに楽しんで下さい。(笑)

元気に夢を語り合うことは良いことだが、ガンバリウスのホールスタッフが一生懸命モップをかけている姿をみて、反省の弁を述べられた会員もいた。

(記事:岩田)



32期ハンサム発行にあたり

メディアコミュニケーション委員会 委員長 景山周司

秋の気配が感じられる頃、32期最初のハンサムを発行させていただきます。今期のハンサムは見開きの紙面構成にし、内容は例会・県青中の動き・各委員会報告・中央会の活動等の記事、今期ハンサムの新連載記事で構成していきます。

今期ハンサムの新連載記事ですが3つのテーマを選びました。**「委員会BunBun訪問」**32期の個性的な委員会活動状況をピックアップして取材。ハチのようにブンブンいわせながらどこにでも飛んで取材に行きます。

「PLAYBACK中央会～あの頃僕は若かった～」近年卒会されたOB会員から創設時ご卒会の大先輩まで遡って、その当時の中央会の様子、思い出に残る委員会、そして今の中央会に望む

ことなどを取材させていただき、次号の先輩OBを紹介させていただきます。最初は32期福田会長からの紹介でスタートします。**「Try&Challenge ～夢をかなえるために～」**今期のスローガンにもとづいて、現役会員に「今、挑んでいることは何ですか?仕事・プライベート・中央会活動の中から今取り組んでいることを語っていただきます。

1年間ハンサムを発行するにあたり、現役会員、OB会員皆様のご協力があって制作することができます。皆様楽しんで見ていただけるハンサムを委員会メンバー全員で一致団結して制作・発行していきますので、何卒ご協力、ご指導よろしくお願ひします。



委員会 BunBun 訪問



～ 委員会は会議室だけでやっているのではない… 現場でもやっているのだ!! ～

● 地域スクラム委員会 ●



平成18年8月10日(木) ガイナーレグリーンスクエアにおいて地域スクラム委員会が開催された。委員会ではSC鳥取のJリーグ参入宣言を題材として、J昇格への実践活動を展開し、そのビジョンと経済効果の検証を目的としている。まずはSC鳥取を知ることから始めようとの趣旨から、講師としてSC鳥取代表である尾形氏とメインスポンサーに名乗りをあげた山陰合同銀行の中ノ森氏(地域振興部部長)を招聘し、SC鳥取の概要について説明を受けた。

中ノ森氏より近年は企業の社会貢献が非常に重要視されていること、またメインスポンサー不在でチーム運営に支障をきたしているとの報道等もあり、地域活性化のために手をあげたと話された。行員サポーターも募って現在600名以上集まっており、活動は急ピッチで進められている。

また両氏からSC鳥取がJFLにいるチームであり、上はJリーグ(まずはJ2)しかないということは非常に重要であると説明され、Jリーグは夢というレベルではなく、現実的なレベルにあることを熱く語られた。

SC鳥取をJリーグへ押し上げ地域活性化の起爆剤とし、また地域住民がチームに対して高い誇りや強い愛情を持ち、ひいては郷土に対しても同様の熱い思いが持てるような活動にしていきたいとの抱負であった。

講師お二人のSC鳥取への熱い思いが我々にも十分伝わる実に有意義な時間であった。

J2加盟にはJFL2位以内(現在の成績は後期第4節まで18チーム中10位)入会直前年度の平均観客数が3000人以上であることなどの基準を満たす必要がある。まずは我々もSC鳥取の試合を見に行き応援することから始めようではないか。(記事:村上)



● 政治行政委員会 ●



駅南開発という大きなテーマを掲げた牧田委員長率いる政治行政委員会。平成18年8月8日(火)「大連」にて第2回目の委員会が開催された。この日、集まった委員会メンバーの出で立ちはいつものスーツ姿とは違いラフな服装。今日はみんなで駅前周辺を歩き、どんなところに問題点があるのかを自分たちの目で確かめようというのだ。

午後8時、いつもの連絡事項などを早めに終わらせ、いよいよ駅前周辺の視察へと出発。一行はまず、米子駅が見渡せる跨線橋の上から駅とその周辺に目をやった。米子駅正面に比べ駅裏はかなりさびしいのがはっきりとわかる。続いて駅を横切り



だんだん広場へ。ひと気がまったくないだんだん広場に立ち、委員会メンバーからは「このスペースをもっと有効活用できれば……」「立体駐車場を作っては?」「屋台村を作っては?」などの声が上がった。そして、一行は地下道へ。ここでも委員会メンバーからは「この地下道を駅裏まで延ばしてはどうか?」など、活発な意見が飛び交った。

約1時間かけて米子駅周辺を歩いてみてさまざまな問題点が浮き彫りになったようだ。委員会メンバーは再び大連に戻りそれぞれの考えや感想を語り合った。「人の集積がない現状の中で、駅を変えて人が集まるのだろうか?」「今回の委員会テーマである駅南開発が夢物語にならないような事業を考えたい。」

今回の視察は政治行政委員会にとってそれなりの成果があったことは間違いないようだ。そして、これからどんな米子駅周辺の近未来像が生まれるのか楽しみである。

(記事:本池)

平成18年度 委員会運営並びに書記・会計説明会



平成18年8月21日(月)米子食品会館において平成18年度委員会運営並びに書記・会計説明会が開催された。本年度より事務局機能の移管等もあり、当会の書記・会計担当者の責任の大きさを改めて実感した。書記は今まで各委員会ごとに異なっていた委員会報告書の書式の統一をすることで誰が見ても分かりやすいものを記録しておき活動内容をアピールする。ある意味広報活動といってもよいのではないかと。ホームページにも掲載されるとなるとまさしくそうだろう。会計は事務局より各委員会に振り分けられた委員会費が、委員会もしくは委員会に所属する会員に対して有効に使われているかどうか

を把握する為に、出入金の記録をしっかりとっておく。本年度より上期下期と2回事務局からの送金があるが、上期は8月末日、期限内納付のあった人数分を送金、期限後納付の場合は下期にまとめて送金。下期は1月1日の委員会人数に上期の委員会出席率を掛けて送金とかなり厳しくなっている。

書記・会計経験者の植田副会長の総括で「会が独立していくためには、組織を強くする必要がある。そのために委員会を支える書記・会計の役割は今まで以上に重要になっていく」とお言葉をいただいた。

“書記・会計は委員会の四役だ”の言葉通り大変責任の大きい仕事である。

(記事:安岡)



第30期卒会 市位 清明OB

Q. 入会時に、紹介者の方や先輩方から『中央会はこういうものだ』と何か説明がありましたか？

A. ビジネスの会だと言われたよ。でも、直接仕事をもらうというのは考えない方がいい。顔を知ってもらうこと。狭い西部で仕事をするわけだから、人脈を作ることが第一だね。濃い関係を作れば、万が一の際に親身になって助けてくれるよ。

Q. 委員長経験を踏まえて『出席してもらう』ためには？

A. まず、トップダウンでしっかりとした指示を伝えること。それから、メンバーからの意見をくみ上げること。この二つのバランスが重要で、片方に偏ると失敗するね。

最近では委員会後の二次会が少ないと聞くけど、例会・委員会だけでは踏み込んだ付き合いはできない。二次会に出たりゴルフなど趣味等を通じた活動を共にすることにより本当の仲間ができるんだ。

Q. これからの中央会に望むことは？

A. 特にないな。悪い意味ではなくて、その時代にあった活動をすればいいと思うよ。よく「今の中央会が楽しくない」という愚痴を聞くけど、楽しさは見つけるものだし、「自分で楽しくしてやろう！」って思わないと楽しくならないね。

新企画ですので、今回は福田会長に市位OBをご紹介いただき取材しました。副会長・県会長まで務められたOB、話す場は過去多かったかと思いますが、ひとりのOB会員としてお話をさせていただきました。出張の合間を縫ってのお忙しい中、1時間に渡りお話しいただき、ありがとうございました。

次号は市位OBよりご紹介いただいた〇〇OBの方へ訪問いたします。
(記事:桑本)

釜田 公文 県会長



センターサークル有限責任事業組合代表の釜田です。メンバーは他に植田会員・渡辺会員で構成されています。

当組合が製作する商品は『セカンドライフ』と言い、車椅子生活を余儀なくされた方が家の中に引きこもることなく、そして誰でも簡単に利用できるように低価格に抑えた簡易車椅子移動車です。先日8月10日(木)には、米子信用金



庫が企画した『チャレンジ21(擬似私募債融資)』の第1号として認められました。

組合名をセンターサークル(=中央会)としましたのは、「異業種であるわれわれ中央会3名で何か面白いことをやろうや!」という動機によるものです。昨年私たちは県出向で、県役員会へ行く車中でいろいろ話し合い、その後飲みながら煮詰めて行き、「これはいけるかも」と冗談交じりからのスタートでした。

普通は話だけで終わるのですが、私は早速、中古の軽自動車を買って他のメンバーを強引に引き込み事業のスタートを切りました。車椅子を入れるには高さが足りない、スロープの斜度が高く怖くて乗れないなど、この事業は失敗したかなと思いましたが、ありったけの知恵をしぼり問題をクリアしていきました。

いろいろありましたが、この商品が世の中に普及し世のため人のためになることが我々の夢です。これは異業種の集まりである中央会ならではの英知・友愛・団結でできないことはないとおもっています。

32期会員拡大大会議開催

平成18年7月26日(水)米子食品会館において、32期会員拡大大会議が担当の地域スクラム委員会、会長、副会長、各委員長出席のもと開催された。福田会長より「現在、会員数103名、本会は120名以上の会員数が理想。今期の会員獲得をお願いします。」担当の土岐委員長から「会員拡大のため、皆様の協力をお願いいたします。」そして31期担当の花園前委員長から見込み会員などの引継ぎがあり、今期の方針・活動方法が議論された。各委員会で会員拡大担当を決め、2名以上の新入会員獲得を目標とすることを決定した。

翌月、8月22日(火)米子食品会館において、第2回会員拡大大会議が開催された。冒頭、福田会長より「今期2ヶ月が過ぎました。我々の活動をできるだけ多くの方と行いたい。それが中央会です。」とあいさつがあった。議題は、前回の会議決定事項の確認、進捗状況報告、新規情報交換などが行われた。

今後、2ヶ月に一度行われる会員拡大大会議。会員の皆様も今期一人でも多くの中央会の会員が増えるようにご協力をお願いします。
(記事:景山)

県青中の動き

平成18年8月25日(金)17時より米子コンベンションセンターにおいて、第1回役員会が開催されました。平成18年度釜田県会長のもと追風に帆を掲げた出航になったものとおもいます。

今年度のテーマ「地域貢献」では、学校教育に力を入れて事業をおこなう予定となっています。会員のみなさんひとりひとりのご理解とご協力のもと行動をおこし、成功させていきたいとおもいますのでよろしくをお願いします。

今後の事業計画としまして委員長交流会・経営研修会・親睦事業等が予定されています。10月に開催されます親睦事業におきましては、前年度親睦事業「ソフトボール」での優勝に引き続き西部での盛り上がり期待しております。みなさんの親睦や交流が深まる事業になるよう精一杯がんばりたいとおもいますので、多数のご参加よろしくをお願いします。

(記事:佐々木雅彦 県出向理事)